令和6年度 学校評価報告書

学校番号(小41) 長崎市立(高尾小)学校

1 教育目標

「自律・共生」
 自律：自ら考え判断し行動する子供の育成
 共生：多様な他者を尊重し共に生きようとする子供の育成

2 学校経営方針

一人一人の児童が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにする。

3 重点目標

- ①確かな学力【市個別施策：確かな学力の向上】…学習規律の定着と、主体的・対話的で深い学びの実現
- ②豊かな心【市個別施策：健やかな心と体の育成】…心の教育の推進と生徒指導の充実
- ③健やかな体【市個別施策：安全・安心に学べる教育環境づくり】…人的環境の整備と特別支援教育の充実
- ④信頼される学校【市個別施策：家庭・地域との連携】…双方向の情報発信と共有

4 自己評価

領域	項目	質問内容	アンケート結果			分析及び改善策
			(肯定的割合・%)			
			児童生徒	保護者	教職員	
学校経営	教育目標	教育目標を達成している	86	83	93	「教育目標」「学校の雰囲気」の児童評価でそれぞれ10pt低下した。「自律・共生」の教育目標で3年目となり、浸透してきているものの、児童の実感を伴うものにならなかった。あらゆる機会を捉えてポジティブフィードバックを実践していく。
	学校の雰囲気	明るく楽しい雰囲気である	84	92	100	
	組織運営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している			100	
	業務の改善	校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している			100	
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	72	81	73	保護者評価では、「悩みや相談に親身に対応している」「いじめ防止のための対策をとっている」「教育的ニーズに応じた教育を行っている」などの項目で向上しており、教職員が子供に寄り添いながら相談に乗り、学校が組織的に対応していることは肯定的に捉えていただいている。一方で、「ルールやマナーを身に付けている」「挨拶をよくしている」「生命や人権を尊重しようとする心が育っている」などの項目では低下しており、子供の姿には満足していないことがうかがえる。保護者に対してもあらゆる機会を捉えてポジティブフィードバックを実践していく。
		挨拶をよくしている	84	67	67	
		「あ・は・は運動」を知っている(小学校のみ)	83	82	87	
		教職員は悩みや相談に親身に対応している	84	91	100	
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている	90	87	100	
	人権教育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている	83	81	73	
	平和教育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	88	92	80	
	特別支援教育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている	86	84	100	
確かな学力	特色ある学校づくり	伝統や校風、地域の実態に即した教育を行っている	85	90	93	「家庭学習の習慣が身に付いている」の保護者評価は、全項目中最も低い値であった。「宿題から自学へ」の転換を進めるために、「家庭学習の手引き」を作成した。児童の意識改革は進みつつあるが、保護者については十分浸透しておらず、具体的な取組と成果を発信していくなど、根気強く取り組んでいく。
	学習指導・教育課程	わかりやすい授業を行っている	88	92	100	
		家庭学習の習慣が身に付いている	75	64	67	
	キャリア教育	将来の自立に向けて適切に指導している	86	77	93	
長崎のまちや自分の住んでいる地域が好きである		88				

健やかな体	保健・衛生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	90	90	93	「基本的な生活習慣の定着」の児童評価6pt低下、保護者評価5pt低下と下げ幅が大きかった。特に児童評価は71%と全項目中最も低い値であった。クラスルーム「学校掲示板」を活用するなどして、児童に対する啓発を進めていく。また、teturuを活用するなどして、保護者に対しても適宜情報発信を行っている。
	体力向上	早寝・早起き・朝ごはん(基本的な生活習慣)が身に付いている	71	80	87	
		体力向上に努めている	82	80	87	
	食育	食に関する教育活動を行っている	89	93	100	
信頼される学校	安全管理	児童生徒の安全に気を配っている	82	94	100	保護者評価では全項目で90%を超え、「信頼される学校」として高評価をいただいた。学校からの諸連絡や児童の様子などについては、基本的に紙での配付を止め、teturuによる配信に切り替えた。teturuの即時性を生かした情報発信を行ったことが、高評価につながった。今後も積極的に情報発信していく。
	情報提供	学校の状況は通信やHP等で知ることができる	91	92	100	
	PTA・地域との連携	学校はPTAや地域との連携がとれている	91	93	93	
	職員資質向上	研修が充実し、資質が向上している			100	
教育環境	環境整備	教育環境が充実し、整備されている	86	94	93	「環境整備」の保護者評価が3pt向上した。安全点検の結果を基に、全職員で環境整備に取り組んだ結果と捉える。次年度も継続していく。
	職場環境	学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる			100	

5 自己評価のまとめ(成果・課題・対策等)

○児童アンケートでは23項目全てで低下、保護者アンケートでは22項目中9項目で低下、教職員アンケートでは26項目中13項目で低下と、それぞれの立場で様々な課題を感じていることがうかがえる。一方で、保護者アンケートでは10項目で向上しており、特に教職員の取組に関する項目で高い評価をいただいている。「自律・共生」の学校教育目標を掲げて3年目となり、これまでの一つ一つの取組が成果を上げ、学校全体として良い方向へ進み始めていることを肯定的に評価していただいたものと捉えている。

○主な課題は「ルールやマナーの定着」「積極的な挨拶」「家庭学習の習慣化」「キャリア教育の充実」「基本的な生活習慣の定着」の5つ。

○「ルールやマナーの定着」「積極的な挨拶」に関しては、学校内外においてまだまだ十分でないとの声をいただいている。時と場に応じた適切な言動については、機会を捉えて指導を継続していく。「家庭学習の習慣化」「キャリア教育の充実」「基本的な生活習慣の定着」の3つに関しては、保護者向けの情報発信を増やすことで理解を促していく。いずれの項目に関しても、児童の委員会活動に投げかけることにより、主体的な取組による向上も図りたい。

6 学校関係者評価

平均3.4(昨年度3.5)の評価をいただいております、全体的に肯定的な評価であった。

一方で、「挨拶」「あ・は・は運動」「基本的な生活習慣」の体現ということについては、2の評価をされた方もおられ、生活指導面の課題を感じている。

○地域行事等進んで参加して下さる先生方の姿勢はとても望ましいです。

○今後も地域と連携をとりながら学校運営を進めていってほしいです。

○学校への意見と言うよりも、保護者や地域の協力や関心が足りない気がする。

7 対策等の見直し(学校関係者評価を受けて)

○生徒指導面での課題は、その要因や現象も多様化し、複雑化している。そこで、本校では保護者との関係性の向上を図るために、今年度も学校での児童の様子について保護者と日常的に連絡を取り合ってきた。管理職を含めた教職員や支援員を総動員するとともに、SC(スクールカウンセラー)やSSW(スクールソーシャルワーカー)、児童相談所・子育てサポート課・浦上署などの関係機関と連携し対応した。また、学校教育目標「自律・共生」につながるスローガンとして、R5「高尾の自慢をつくろう」、R6「高尾のよさを自慢しよう」を掲げ、ポジティブフィードバックを実践することにより自尊感情(自己肯定感)を高める取組を続けてきた。これからも、計画的に児童理解研修と定期的な評価、PDCAサイクルに則った見直しを行い、児童に寄り添った関わり方を全教職員に浸透させ、チーム学校としての指導体制を整えていく。

※「4 自己評価」の「項目」欄には、領域毎に空欄を設定している。ここには、重点目標に即し、学校独自の「評価項目」並びに「質問内容」を追加することができる。

<参考例> 読書活動、豊かな体験活動、部活動 等

※「4 自己評価」のアンケートは、4段階で回答するようになっているが、そのうち上位2段階を肯定的回答ととらえ、その割合(整数値のみ)を集計する。